

種名 ニホンカモシカ (アオ、アオシシ、ニワシシ)



低地から山地までの、森林にすんでいます。外敵から身を守るために、岩場を必要とします。木の葉や草を食べ、冬場には、木の芽や皮を食べます。
虫川が合流するあたりより上流側で、よく見られます。数は増えていて、以前は、青海町側にしかいませんでしたが、糸魚川市側でも見られるようになりました。河原を渡って移動する姿を見かけることがあります。

種名 ハヤブサ



カラスぐらいの大きさで、がっしりした体をしています。ほおには、黒色のひげのような、まだら模様があります。岩場や草地の、開けたところにすんでいます。3～5月に繁殖します。
明星山で、観察されています。河口部から、姫川第7発電所のあたりを中心に、姫川の河川敷でも、しばしば見られます。

種名 ハイタカ



ハトぐらいの大きさで、背側は灰褐色から黒色で、腹側は白色で細かい模様があります。餌は、ほとんどが小鳥類で、5月頃に繁殖します。
おもに、山地にすんでいます。姫川のまわりの山地で繁殖している個体が、姫川第7発電所あたりでよく見られます。

種名 チョウゲンボウ (マグソタカ、コタカ、スズメタカ)



ハトぐらいの大きさで、長い尾を持っています。背面はレンガ色で、頭と尾は、青っぽい灰色をしています。原野や畑地で、よくホバリング（空中に、はばたきながら静止すること）しているのが見られます。まれに、橋のような、人が作ったものを、営巣場所に利用します。
河口部から、姫川第7発電所のあたりにかけて、よく見られます。今後、鉄橋の下に、巣づくりをしているのが、見つかるかもしれません。

種名 ノスリ (ショウベンダカ、コバイタカ)



尾は短く、トビより少し小さくて、ずんぐりした体型をしています。腹側は、白っぽい色です。餌は、小さなほ乳類が多く、鳥やカエルも捕まえて食べます。5～7月に繁殖します。
おもに、山地にすんでいます。河口部から姫川第7発電所のあたりにかけて、よく見られます。

種名 コチドリ (カワハシリ)



顔と胸に、横じまがあります。ふつうは、夏に渡ってくる種類ですが、一部は、冬を越したのが見られます。水田や造成地で、昆虫を捕まえて食べます。河原や砂浜に巣をつくり、繁殖します。
姫川の全地域で、見られます。なかでも、河口の右岸側にある、河原の砂利場を繁殖地にしています。人工的な広場や、河原によく集まってきます。